みしま

災を乗り越え
絆深める

写真／西方地区の西隆寺では、初詣に訪れた方々が除夜の鐘を突き、新年を迎えました。

2012
1
広報みしま No. 226

行政

課題を共有し共に行動し
助け合い夢を分かちあいたい

二瓶 隆司 町長

新年あけましておめでとうございます。昨年はマグニチュード9の大地震が日本列島を襲い、多くの尊い人命、積み重ねてきた大きな財産、生きていくうえでの支え、よりどころとなるかけがえのない「ふるさと」を奪い去りました。今なお避難生活を強いられている方が多数おられる中で、「おめでとうございます」という言葉を使うことにためらいを感じましたが、迎えた新年が、日本の国を挙げてこの言葉にふさわしい年にしなければいけないと強く願っております。三島町をはじめ奥会津地方では、7月末の「新潟・福島豪雨」に襲われ、原発による健康問題、風評被害に加えて、多大な被害を受けました。引き続きこれらの被害に的確な対応を図ります。昨年は自然災害のみならず、経済活動の分野においても大変な年でした。ふるさと振興公社の解散、町の象徴ともなる会津桐タンス株式会社の経営問題、さらには三島エース株式会社の撤退もありました。

その中にあって町制施行50周年の節目の年でもありました。この難局に町民が一体となり力を合わせ、新たな時代を切り開くための努力を惜しまないことを誓ったところです。

現在、防災無線端末に代わるものとして、情報通信端末の全世帯設置を進めています。聞きやすい音声と文字による情報受信、町内無料テレビ電話が実現し、防災体制の強化、地域コミュニケーションの促進を図っていきます。

また、昨年は「会津桐炭株式会社」が設立されました。町としても見守り、応援していきたいと考えています。また、第4次の振興計画には若者定住を柱に据え、今年度は雇用につながる新規事業に対する支援制度を設けました。今後は環境面での施策も打ち出し、具体的な定住対策を講じていきます。そして地区の振興です。地区が主体となった事業に積極的な支援を図っていきます。

町長に就任し、改めて町を見つめ直してみると「課題を共有し、共に行動すること」「助け合い、夢を分かち合うこと」が今三島町に求められています。将来を見据えた町の活路は、町が一つとなり、知恵を出し合い、目標を同じくし、共に行動することにつきます。そのためにも、町民の皆さんに、ご理解とご協力をお願い申しあげます。終わりに町民の皆さまが健康で安心して幸せな気持ちで暮らせる一年であることをお祈りし、年頭のご挨拶とします。

議会

防災計画を見直し
災害に強い町づくりを

角田 伊一 議長

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、健康で、希望に満ちた新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年は空前絶後の大震災と洪水、それにも増して福島原発の爆発事故による放射能汚染、風評被害とまさに四重苦に見舞われた最悪の年でした。このため観光産業をはじめ、全ての職種に悪影響を及ぼし、経済活動が大きく落ち込み深刻な状況のまま新しい年を迎えてしまいました。

三島町における放射能は、幸い健康に悪影響を及ぼすほどのものではなく、保育所や小中学校での除染作業も行い、さらなる安全を確保し、今年はマイクロホットスポットを探索して除染活動を行う計画です。

今年は国をあげて防災の年になると思われます。数年前より世界的な異常気候が続いており、「地球は千年に一度の地核活動期に入った」と警告する学者は多数おります。東日本の大震災はその一端であり、マグニチュード九・四という世界最大級の東南海地震発生の予告も年末に発表されました。

三島町の災害史で注目されるのは、慶長会津大地震の震源地が滝谷であり、弥生時代の沼沢沼噴火による只見川せき止め湖の崩壊による大洪水、文政年間の大谷川大洪水など第一級の災害が多数発生しております。「想定外を想定する」これが国民、住民の安心、安全を守る原点であり、今年の政府の危機管理の合言葉になったことが報道されました。三島町も現行の防災計画をさらに検証して、災害に強い町づくりを進めなければならないと考えております。

四月には任期満了にともなう議会議員の選挙が行われます。震災や水害復興、経済活動の停滞、少子高齢化など課題が山積するなか、三島町の未来を託す重要な選挙となります。議会は町民の代表機関であり、皆さんの声を行政に届け、政策として実行させることの出来る大切な場です。これまでも開かれた議会を目指し、町民に信頼され、存在感のある議会にするべく改革を進めてきたところであります。一層のご指導とご支援をお願い申し上げます。

結びに、三島町の益々のご発展と、町民皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。

消雪の水が出ない・・・

写真／消雪ポンプなどが故障しているため、道路に雪が残る宮下地区

豪雨でポンプが故障

平成23年7月末に発生した新潟・福島豪雨では、住宅や道路、農業、観光施設に多大な被害をもたらしました。宮下地区の消雪ポンプの故障もその被害のつめ跡であり、宮下地区と荒屋敷地区では現在もなお、消雪の水が出ていません。

同地区の消雪施設は、只見川からポンプでくみ上げた水を道路に散水し雪を溶かすことで消雪していました。しかし豪雨によりポンプなどが故障したため、修理をするか、別な除雪方法を検討しなければなりませんでした。消雪ポンプの修理は「10カ月以上かかること」「只見川の水位の問題」などの理由から、今年度中の修復は見込めませんでした。消雪ポンプの復旧について県では現在も工事発注の準備を進めていますが、その時期についてはめどが立っていません。

11月18日に行われた「宮下・荒屋敷地区内除雪についての説明会」において宮下地区の方々と福島県宮下土木事務所、役場担当者で、今年度の除雪に対する話し合いが行われ、住民の方から「宮下ダムから水を汲み上げ、地区内の側溝に流して欲しい」といった要望が上がりましたが、実現方法を検討した結果、設備や費用といった観点から、道路の車止め（ボラード）を撤去し、ドーザを使用し除雪すること。そして地区内に雪を仮置きする場を設け、その後仮置き場から排雪することになりました。

例年とは異なる対応をとらなければならなかった今年度の除雪。宮下地区の区長さんと除雪を担当する方々から話を聞きました。

圧雪された雪が溶けて緩んだ時が心配
協力して今年の冬を乗り切りたい

宮下区長　諏訪　義幸 さん

豪雨災害の影響で消雪施設が故障したと聞き、側溝を流れる排雪用水が不足することが心配でした。

現状では車止めを撤去し、歩道まで除雪してもらっているため、今のところ地区内の交通に支障はありません。除雪作業をしてくれている、業者や作業者の方には一生懸命やっていただき本当に感謝しています。

雪が降っても、気温が低く圧雪された状態の道路は通行出来ますが、気温が上がり雪が解け、緩んだ場合が心配です。その際の除雪作業について、しっかり連携し体制を整えて欲しいです。

厳しい状況　満点は難しいかもしれないが
万全の体制で除雪作業にあたりたい

宮下土木事務所　猪股　慶藏　所長

宮下地区で消雪設備の故障により、町民の皆さんには大変ご迷惑をおかけしています。近年の天候はなかなか予測しづらく、昨年度のような豪雨や豪雪による災害が目立ちます。厳しい自然が相手であり、なおかつ今までと違う対応になるので、１００点満点は難しいかもしれません。宮下土木事務所では21年度から除雪業務を建設業協同組合へ委託していますが、組合、町役場と連携し万全の体制で除雪作業にあたりたいと思います。また、町内の方々のご意見を伺いながら、改善していきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いします。

日常生活を守ることが一番
関係機関と連携し除雪体制を整える

役場 産業建設課　小堀　庄太郎　課長

消雪施設が故障したたことで、例年よりも厳しい状況ですが、町民の皆さんの日常生活に支障をきたさぬことを一番に考え、県や建設業協同組合と連携して除雪体制を整えています。

町としては、宮下地区内で雪の仮置き場を手配したり、排雪作業について話し合ってきました。

今後も除雪に関する問題が発生した場合や、皆さんからこうして欲しいといった要望があがった場合、相互に協力しあい、出来る限り対処し、解決していきたいと考えていますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

除雪の新体制

町道の除雪はこれまで、町の直接業務により行ってきましたが、より安定的な道路の維持管理のために、この冬から宮下地区建設業協同組合に委託して除雪を行っています。

国道・県道・町道 建設業協同組合へ委託

宮下土木事務所管内の国道・県道は平成21年度から宮下地区建設業協同組合へ除雪作業を委託しており、今年で3年目になります。町道においても、町では今年度から同じく宮下地区建設業協同組合へ除雪作業を委託しました。これは、より安定的な道路の維持管理のために、地元の建設業者が共同で行う除雪を試験的に実施するものです。

冬の生活の安全・安心を確保するためには、日常の道路除雪は必要不可欠です。地域の高齢化がますます進む中で、より確実な道路除雪の必要性も高まっています。新たな体制により、県と町が連携しながら、円滑な除雪作業を目指して取り組んでいます。

今年は豪雨災害により消雪施設が故障しているため、例年より厳しい状況にありますが、県と町ではこの取り組みを評価しながら、今後の除雪体制について検討していく予定です。

国道・県道

管理責任者	委託先	担当業者
福島県 宮下土木事務所	宮下地区建設業協同組合	佐久間建設工業株式会社

町道

管理責任者	委託先	路線名	担当業者
三島町	宮下地区建設業協同組合	宮下線	滝谷建設工業株式会社
		大登・桑原線	
		川井・桧原線	
		西方・名入線	佐久間建設工業株式会社
		大石田線	

※除雪に関して要請・要望等がある場合は建設会社ではなく、国道・県道は宮下土木事務所☎（52）2311、町道は役場 産業建設課☎（48）5566 へ連絡してください。

最前線の声

除雪作業員

矢澤 隆司さん

私は運転手の補助役ですが、とにかく事故がないように、安全確認に細心の注意を払っています。除雪作業による事故が無いように、皆さんのご協力をお願いします。

除雪作業員

二瓶 豊 さん

道路の消雪の出水口は除雪をする際に、注意しなければならず、通常よりも時間がかかります。除雪は大変ですが事故のないように気を付け作業しています。

除雪にご協力をお願いします

除雪作業を安全にそして円滑に行うため下記の点についてご協力をお願いします。

◉路上駐車をしないようご協力ください。

路上駐車は除雪作業の妨げになりますので、夜間早朝は特に路上駐車をしないようにご協力をお願いします。

◉除雪作業の安全確保にご協力ください。

除雪は安全第一です。車を運転している時に除雪ドーザーが来たときは徐行し、作業員の誘導に従ってください。除雪車を無理に追い越したり、車間距離を十分に取らないと、重大な事故につながりかねません。また、歩行者の方々は除雪車の近くに寄らず、十分な距離を保って通行してください。

安全確保のために皆さんのご協力をお願いします。

◉道路に雪を出さないようにしましょう。

道路に雪を押し出すのはやめましょう。歩行者の通行に危険を及ぼす可能性があり、交通事故にもつながります。

◉重要保存物件には目印を付けましょう。

雪に埋もれ除雪時に崩壊、損傷などの被害を受ける恐れのあるものは、除雪作業員に注意を促すための旗竿など目印を付けましょう。

◉編集を終えて

近年まれにみる豪雪だった昨年度の三島町。大雪による影響で国道49号線は33時間にわたって通行止めとなりました。国道252号線も一時通行止めとなり、町は一時孤立状態。各地区で停電、断水が相次ぎ、一時は全世帯の約半数が停電し、多くの町民の方が不自由な生活をしいられました。今年度は、消雪設備の故障による影響が心配されていますが現在までは順調に除雪が行われています。

しかし、冬は始まったばかり。雪はこれからが本番です。自然が相手であるため、昨年のような豪雪がいつ町を襲うか分かりません。大雪に備えて十分に準備し、いつでも対応できるための心構えが必要です。これは雪に限ったことではなく、地震をはじめとした全ての災害に当てはまることだと思います。

昨年は豪雪、豪雨、大震災とこれまでにない災害を経験しました。経験を無駄にせず今後につなげられるように、町では対策を考えていきたいと思います。

身近な情報をお寄せください。
◉地域政策課 美しい村づくり班 ☎（48）5533

みしまの出来事

宮下班に新しく導入されたポンプ車

宮下班に最新の消防ポンプ車が納車

団員が点検・訓練を実施

三島町消防団宮下班のポンプ車が老朽化したため、新しいポンプ車が導入されました。12 月 16 日に納車され、会津坂下町の心清水八幡神社で安全祈願のお払いをうけました。翌 17 日、福寿草前広場で操作訓練が行われ、同班の団員約 20 人が参加し、新しい機械器具の点検や放水訓練などを行いました。ストーブなど火を使う機会が増える季節ですので火の取扱いにご注意下さい。

じゅうねんのすり方をおばあちゃんから習う子どもたち

おばあちゃんの知恵は大切な宝物

27 年目のおばあちゃんの味

今年で 27 年目になるおばあちゃんの味は 12 月 13 日、町民センターで行われました。老人クラブ女性部の皆さん 18 人が先生となり、三島小 5 年生が「五目ふかし」や「こづゆ」などの料理を体験しました。同クラブ会長の馬場久子さん（大登）は「おばあちゃんたちは知恵という大切な宝物をたくさん持っています。それを子どもたちに伝えていきたいです」と話しました。

町民センターで行われた町民ひろば

町民の皆さんと向き合い対話する

町民ひろば開催される

町民ひろばは 12 月 21 日、町民センターで行われ、約 20 人の方が出席しました。町民ひろばでは町における放射能の現状と除染計画、そして社団法人ふるさと振興公社の解散について、役場の担当者から説明された後、参加者の方と意見交換を行いました。また、町に食品放射線測定器が導入されることなどがが説明されました。

旅館・飲食店を訪問しチラシを配る皆さん

飲酒運転根絶を呼びかける

旅館 飲食店にチラシ配布

12 月 22 日、交通安全協会三島分会、交通安全母の会、交通教育専門員の方々が町内の旅館や飲食店を訪問し、チラシなどを配り飲酒運転の根絶を呼びかけました。飲酒運転はドライバーだけでなく車の提供者や、酒類の提供者、同乗者も罰せられます。車の持つ便利さは危険と隣り合わせです。ドライバーの方は常に注意を払い、ハンドルを握ってください。

約 100 人が参加した新年名刺交換会

2012 年、新しい年が始まる

新年名刺交換会・自治功労表彰式

新年名刺交換会・自治功労表彰式は 1 月 4 日、町民センターで行われ、町民など約 100 人が参加しました。二瓶隆司町長は「若者定住を柱に、具体的な対策を講じる」と話しました。続いて角田伊一町議会議長、杉山純一県議会議員が祝辞を述べました。その後、自治功労者の表彰式が行われ、12 名が表彰されました。（受賞者は 11 ページに掲載）

スキー場開きで行われたテープカット

スキーシーズン到来

町営スキー場が 12 月 22 日オープン

三島町営スキー場開きは 12 月 22 日に行われ、小松正志三島町教育委員長、舟木孝一スキースポーツ少年団会長、二瓶幹朗桑原区長、星信男三島中学校校長、佐藤新治三島小学校校長、北舘長一教育長らが出席し、安全祈願とテープカットを行いました。3 月 11 日までの土・日・祝日、9 時から 16 時まで営業します。たくさんの方のお越しをお待ちしています。

クリスマス用の帽子を作った子どもたち

サンタさんからのプレゼント届いたかな？

ワンダークラブでクリスマスの帽子を作る

保育所に入所前の子どもたちが毎月活動するワンダークラブは 12 月 14 日に行われ、クリスマスにかぶる三角の帽子を作りました。色とりどりの折り紙で作った星やハートの飾りを付けて、かわいい帽子に仕上がりました。次回の活動は 1 月 13 日に団子さしを行う予定です。参加希望は町教育委員会☎（48）5599 までご連絡ください。

みやした蕎麦と豆腐の会の皆さんによるそば口上

桐寿苑で手打ちそばを提供

みやした蕎麦と豆腐の会

みやした蕎麦と豆腐の会の皆さんが 12 月 14 日、桐寿苑の入所者の方に手打ちそばをふるまいました。使われたソバ粉は、宮下・荒屋敷地区の方々が町並み景観づくり運動として、遊休農地を活用して栽培されたもので、同会では 3 年ほど前から桐寿苑でそばを提供しています。当日は同会の方々によるカラオケやそば口上も行われ、会場を盛り上げました。

三島保育所

入所のご案内

4月からの三島保育所の入所申し込みを受け付けます。

◉保育の実施基準

児童の保護者が次の①～⑦のいずれかに該当し、児童を保育することができないと認められる場合で、かつ同居の親族等が当該児童を保育することができないと認められる場合に行うものとします。

①居宅外で労働することを常態としていること。
②居宅内で当該児童と離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としていること。
③妊娠中または出産後間がないこと。
④疾病にかかり若しくは負傷し、または精神若しくは体に障害を有していること。
⑤長期にわたり疾病の状態にあるか、または精神若しくは体に障害を有する同居の親族を常時介護していること。
⑥震災、風水害、火災その他の災害の復旧に当たっていること。
⑦町長が認める前各号に類する状態にあること。

◉対象者

三島町に住所を有する小学校入学前の乳幼児（平成24年度に途中入所を予定されている方もお申し込みください。）

◉保育時間

午前8時30分～午後4時30分
（土曜日は午前8時30分～午後0時30分）
ただし特別な事情がある場合は、早朝・延長保育を実施します。

◉保育料

保育料は保護者の所得税額、または町民税額を基準として決定されます。

◉提出書類

保育所入所申込書および就労証明書（用紙は保育所および役場窓口で配布しています。）

◉入所申込締切

1月31日㈫

問 三島保育所☎（48）5501
教育委員会☎（48）5599

三島町教育委員に 半澤 美由紀さん

三島町教育委員に委嘱された半澤美由紀さん

三島町教育委員に半澤美由紀さん（名入）が選任され、12月21日に二瓶隆司町長から委嘱状が手渡されました。半澤さんは「これまでお世話になってきた皆さんのお役に立てるように頑張りたいです。保護者の目線に立って、先生方と連携していけるように努めます」と話しました。任期は平成23年12月21日から平成27年12月20日までの4年間です。

平成24年度三島町奨学生の募集

三島町では高等学校、大学、高等専門学校、専門学校等の学生を対象に下記により三島町奨学生を募集しますので、希望される方は期日までに出願手続きをお願い致します。

1 貸与資格
・学生又は保護者が引き続き1年以上三島町に住所を有する者
・品行が正しく、学術に優れ、健康である者
・経済的理由により就学困難と認められる者

2 奨学資金の額（月額）
・大学生　3万円以内（無利子）。その他　2万円以内（無利子）

3 貸与期間
・進学する学校の正規の修業期間

4 償還期間
・就職6ヵ月後から月賦で6年以内での償還となります。

5 出願手続き
・奨学生願書、奨学生推薦調書を平成24年2月24日㈮まで三島町役場総務課へ提出してください。

6 その他
・奨学生願書、奨学生推薦調書の請求、その他不明な点は役場総務課☎（48）5515へご連絡ください。

自治功労者表彰

おめでとうございます

自治功労表彰式は1月4日、町民センターで行われました。各分野で功労のあった12人が表彰され、二瓶隆司町長から表彰状と記念品が手渡されました。

左から、小柴悦郎さん、齋藤茂樹さん、五十嵐七重さん、五十嵐渉さん（出席者のみ）

◎**特別功労表彰**
◉前町長
齋藤茂樹 様（宮下）

◎**功労表彰**
◉消防団員
小柴悦郎 様（高清水）
二瓶俊浩 様（大谷）
石岡利之 様（大登）
◉固定資産評価審査委員
五十嵐徳美 様（早戸）
◉語り部として文化振興
五十嵐七重 様（西方）
◉役場職員
坂内君子 様（会津坂下町）
渡部規子 様（西方）
五十嵐純子 様（大登）

◎**善行表彰**
◉多額の寄附
栗城郁子 様（宮下）

◎**顕彰表彰**
◉東北高等学校弓道選抜大会
男子団体6位
五十嵐渉 様（大谷）

◎**感謝状**
◉多額の寄附
佐久間建設工業㈱
代表取締役
佐久間源一郎 様（早戸）

五十嵐 三美さん

日本商工会議所会頭賞を受賞

第53回日本民芸公募展（日本工芸館主催）において五十嵐三美さん（大谷）が出品した山葡萄蔓縄紋篭が日本商工会議所会頭賞に輝きました。五十嵐さんは「今回で3回目の出品になります。特別賞を受賞出来たことは素直に嬉しかったです。今後もさらに上の賞が取れるように頑張りたいです。基本的な技法やスタイルは守りつつ新しい創作にチャレンジしていきたいです。」と話しました。

三島剣友会

少年剣道教育奨励賞を受賞

三島剣友会（代表　栗城佐さん）が、財団法人全日本剣道連盟の「少年剣道教育奨励賞」を受賞しました。近年は武道に取り組む子どもたちの数は減少傾向にあります。同会でも一時会員数は4人に減少しましたが、一貫した運営方針や指導内容と地域に根差し、学校教育と家庭教育の融和を図ってきた地道な活動が徐々に浸透した結果、現在では20人を超える子どもたちが、剣道を学んでいます。これらの功績が認められ今回の受賞となりました。

三島の
民話
第十話
数え唄

「正月せぇ」

正月せぇ～障子あければ万歳のぉ
鼓の音やら唄の声～唄の声～
二月とせぇ～二階に居るのは高等科～
下に居るのは尋常科～尋常科～
三月せぇ～咲いた桜は美しく～
飾ってみれば内裏様～内裏様
四月とせぇ～死んでまた来るお釈迦様～
竹の子開けば袖お釈迦～袖お釈迦～
五月とせぇ～ごんぼ畑に菜を蒔いて～
お正月来るのを待って居る～待って居る～
六月せぇ～ろくに田の草とらないで～
二番三番取っている～取っている～
七月せぇ～質屋の番頭さんは忙しい～
質においたり流したり～流したり～
八月せぇ～ハチに刺されて泣いている～
何か薬ははあるまいか～あるまいか～
九月とせぇ～草の中には何がある～
匂いのはげしい菊がおる～菊がある～
十月せぇ～重箱かついでどこへ行く～
これは姉さんのお土産に～お土産に～

掲載協力
阿部　マサエさん（桧原）

「ひとつ火鉢で」

一つ　火鉢で焼いたもち
二つ　福ふくふくれもち
三つ　見事なきなこもち
四つ　よごれたあんこもち
五つ　隠居のかぶれもち
六つ　娘の土産もち
七つ　名古屋の納豆もち
八つ　山中の牛蒡っ葉もち
九つ　こめらの出っせぇもち
十は　とっつぁまのかざりもち

掲載協力
杉本　ミツイさん（桧原）

本 町民センター図書コーナー ゆめぽけっと

●利用時間　月～土 9:00～21:00
　日・祝 9:00～17:00
●お 休 み　年末年始
問 教育委員会 ☎（48）5599

小・中学生向け

星と月の生まれた夜

D・グティエレス・文
M・F・オリベル・絵
山本 厚子・訳
河出書房新社

昔むかし、やみ夜が嫌いな一人の男がいました。太陽の下では平気なのに、夜になると不安になります。その男が思いついた考えとは・・・

速さのちがう時計

大人向け

星野 富弘・著
偕成社

血液型が違うように、人はそれぞれ速さのちがう時計を持っています。「それぞれのペースで一生懸命に生きればいいよ」そんな言葉が、詩画から聞こえるような気がします。

こども向け

みるなのくら

おざわ としお・再話
赤羽 末吉・画
福音館書店

昔あるところに、貧しい若者がいました。若者は毎日山で薪をとっては里で売って暮らしていました。ある日のこと。いつものように、山へ行くと・・・

本のリクエスト募集中

読みたい本、おすすめの本などがありましたら、図書コーナー係員にご相談いただくか、所定の用紙に記入してリクエストBOXにご応募ください。教育委員会で検討し、選定された本を購入します。

宮下病院だより

新年のご挨拶

福島県立宮下病院
院長　板橋 邦宏

新しい年の始めにあたり、御挨拶を申し上げます。

昨年は、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能汚染問題、さらに追いうちをかけるよう会津豪雨による被害と大変な年でありました。

今なお困難な状況の中で多くの方々がそれぞれの立場で懸命に活動されている事を思うと、素直に新年を祝う気分にはなれません。

しかし、私達はいつまでも嘆いているわけにはいきません。年が改まった今こそ幸せをつかむ努力をしようではありませんか。

ある偉人は言っています。“幸せな一日は笑顔でのあいさつから始まるもので、社会の平和は人と人との触れあいから始まり、その小さな集まりが地域全体と連動して社会全体にもたらせるものだと。”「こんにちは」とニッコリ笑顔であいさつした自分が幸せな気分になり、あいさつされた人がまた幸せな気持ちになるという事でしょうか。不幸だと嘆く前に毎日の生活の中で小さくても幸せと感じるものを見つける努力をしてみませんか。

私も昭和60年に当院に院長として着任して27年になりますが、医者としての大半を、私を育ててくれた郷里で過ごせたことを本当にありがたく幸せなことだと思っております。

病院を訪れる患者さんと接しては、あたたかい励ましの言葉をいただき、この病院が地域の皆様に支えられていることに幸せを感じながらの２７年でありました。改めて感謝を申し上げます。

本年も皆様の健康と安らぎの一助となりますよう、私共も幸せを感じ、それを積み上げて努力して参ります。

本年もどうぞよろしくお願いを申し上げます。

みんなで守ろう文化財

1月26日は文化財防火デーです

文化財防火デーは、昭和24年1月26日奈良県にある法隆寺金堂が火災になり、国宝十二面壁画の大半を焼損したことがきっかけで定められました。

三島町にも大切な文化財がたくさんあります。これらはほとんどが木造のため、いったん火がつくと全て燃え尽くしてしまうので、絶対に守らなければいけません。

問会津坂下消防署三島出張所　☎（52）3032

歳時記 萌の会

湯タンポの優しき温もり母の如　小平佳子
団欒の廻し戸あける虎落笛（もがりぶえ）　小柴有美子
都路は栗鼠（りす）か土鼠（もぐら）か追走風　佐藤朋良子
降るまでは荒縄を巻く冬用意　小柴六進子
陽と遊び風と戯る吊るし柿　諸井まさ子
遮断機の向うの人もちゃんちゃんこ　栗城幸子
残照を雲にあつめて冬日落つ　小柴盛雄
大病越えて怖いものなし十二月　片山祐一

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では 11 月中、刑法犯の発生はありませんでした。

振り込め詐欺の心理学

国内某大学教授の心理学者が、振り込め詐欺などの手口を心理学を使って分析しました。

・振り込め詐欺
「まず恐怖心をあおってから解決策に飛びつかせるという方法で、パニックに陥ると思考能力が低下するという人間の弱点をついた手口です」

・有名な学者が推薦しているなどと言って商品を売り込む悪質商法
「権威を示されると批判する能力が弱まるという人間の心理をついた手口です」

被害に遭わないためには

何か起きた場合に「回りに相談できる人がいる環境を作っておくことが大切」であると訴えています

街頭犯罪発生状況（1 ～ 11 月）

区　分	管内	三島町
空き巣狙い	8	
忍び込み	1	
事務所荒らし		
出店荒らし	4	3
自動車盗	3	
オートバイ盗		
自転車盗	14	
自販機狙い	2	
車上狙い	9	1
部品狙い	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	40	4
全刑法犯	93	8

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。

国有林モニターを募集します

会津森林管理署

会津森林管理署では国有林の管理経営に皆さんの声を反映させていくため、意見や提言を伺ったり、アンケートにお答えいただく、平成 24 年度・25 年度国有林モニターを募集します。

◉応募条件

会津地方に居住の成人でインターネットを利用可能な方。

◉応募方法

平成 24 年 2 月 20 日（当日必着）までに必要事項記入の上、Ｅメールにより応募してください。

◉必要事項

氏名（ふりがな）、性別、生年月日、郵便番号、住所、電話番号（FAX 番号）、Ｅメールアドレス、職業、モニターを知ったきっかけ、応募の理由を 100 字程度。

◉申込先Ｅメールアドレス

kanto_kikaku@rinya.maff.go.jp

◉その他

詳細については、関東森林管理局ホームページ（http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/apply/publicsale/monitor.html）をご覧ください。

問会津森林管理署
会津地方国有林モニター担当　渡邉
☎ 0242（27）3270

三島町の人口と世帯

（12月1日現在）

人口	1,982	−5	出生	0
男	946	−3	死亡	6
女	1,036	−2	転入	3
世帯	837	0	転出	2

※住民基本台帳による数値です。

除雪機による事故を防ぎましょう

社団法人　日本農業機械工業会

本格的な冬を迎え、除雪機を使用する機会が増えています。毎年除雪機による重大事故が発生しています。

◉事故事例

①除雪作業中に転倒し、雪かき部分に巻き込まれて死亡した。安全装置（デッドマンクラッチ）が働かないようにしていたため、転倒して手を離した際に除雪機が停止しなかったことが原因。

②除雪機と建物の間に挟まれ死亡した。後退時の操作誤りが原因。

③シューター部に詰まった雪を手で取り除いていたら、回転部に右腕を巻き込まれ重傷を負った。エンジンをつけたまま、雪かき棒を使わず手で取り除こうとしたため。

◉事故防止のために

・デッドマンクラッチ等の安全装置は無効化せずに、正しく使用してください。また緊急停止スイッチを必ず装着して下さい。

・雪詰まりを取り除く際はエンジンを止め、回転部分が停止したことを確認してから雪かき棒で作業してください。

・雪上は足元が非常に滑りやすいので後方への移動や斜面で作業する際は転倒に注意してください。

・走行する際には、壁や障害物に注意してください。

・作業をする場所の安全を確認し、子どもを決して近づけないでください。

問社団法人 日本農業機械工業内
除雪機安全協議会
☎ 03（3433）0415

みんなで健康づくり《保健事業の予定》

問 町民課 ☎（48）5565

4 カ月児健診
1月17日㈫　11:15～　坂下厚生総合病院

3 歳児健診
1月25日㈬　13:00～　柳津町　銀山荘

乳幼児健診
2月16日㈭　13:10～　町民センター

足腰げんき教室
◎水中運動編
1月24日㈫　13:00～　町民センター集合
河東学園プール

◎室内運動編
2月 9日㈭　13:30～　町民センター

機能訓練会
2月 8日㈬　14:00～　福寿草

心の健康相談（※事前申し込み必要）
2月10日㈮　13:30～　福寿草

広報みしま

皆さんからの情報提供をお待ちしています

「広報みしま」は、皆さんに親しまれる広報誌を目指して編集しています。町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが最も大切と考えています。皆さんの思い、努力、願いなどが読者の関心を引き、感動を与えます。

「広報みしま」は、町民の皆さんのための広報誌です。いつでも情報をお待ちしています。

問 地域政策課
美しい村づくり班
☎（48）5533

これからの行事予定　town schedule

1月 15 日㊐
サイノカミ

1月 22 日㊐
文化財防火訓練

2月 11 日㊏建国記念日
第40回 雪と火のまつり

地域ふれあいサロン

三島町社会福祉協議会

川井友愛サロン
1 月 19 日㈭ 10:00～ 川井集会所

問町社会福祉協議会 ☎（52）3344

ご寄附

ありがとうございました

町へのご寄附

五十嵐 理恵　様
丹野 光明　様
長谷川 市雄　様
阿部 和彦　様（ご遺志により町へ）
笠原 明子　様
神保 ヨシノ　様

三島町社会福祉協議会へのご寄附

ご遺志によるもの

栗　城　惣　一　様（宮下）
五十嵐　元　一　様（宮下）
栗　田　　実　　様（宮下）
小　松　憲　弘　様（西方）
阿　部　和　彦　様（桧原）

Topic 1

災害のない
穏やかな年になりますように

各地区で元旦参り

年末に降った雪が多く残っていましたが、２０１２年の年明けは穏やかな天気でした。町内各地の寺院や神社には、初詣に訪れた方々の姿がありました。「今年は災害のない年になりますように」「家族が一年、元気で過ごせますように」など、それぞれに願いを込めて参拝したことでしょう。

一月一日午前０時30分。新年を迎えて間もなく滝谷地区の諏訪神社を訪れた、年女の大竹友恵さん（滝谷）は「昨年は社会人一年目の年でした。そして震災もあり、ばたばたと過ぎてしまった一年でした。今年は落ち着いてじっくりと仕事や私生活を充実させたいです。そしてせっかく地元に帰ってこれたので、仲間たちと一緒に楽しくやっていきたいです」と話しました。

２０１２年は復興の年。大きな被害のあった地域では復興するまでには長い時間を要することが多いかもしれません。町でも風評被害の払拭や町の振興、その他直面する課題を解決するために取り組んでいきます。

1

2

3

1_稲荷神社（西方）で行われた新年のご祈祷　2_稲荷神社　3_三島神社（宮下）　4_春日神社（桧原）　5_春日神社に参拝された桧原地区の方々　6_諏訪神社（滝谷）での参拝風景

4

5

6

Topic 2

「毎年ありがとう」
今年も届いた、まごころのお弁当

ボランティアグループ「ひまわり会」

1

2

3

8

1_お弁当はメンバーの皆さんの手で届けられた　2_出来上がったおかずを弁当に詰める皆さん　3_弁当作りに参加したひまわり会の皆さん。今回は10人の方々が参加した　4_おいしそうな卵焼き　5_カリカリに揚がったから揚げ。香ばしい匂いが漂う　6_そうめんカボチャとキュウリとニンジンの酢の物　7_きれいに飾り切りされたみかん。細かい部分までまごころがこもっている　8_完成したまごころのお弁当

宮下地区の女性ボランティアグループ「ひまわり会」は11月30日、同地区の81歳以上の方々47人のためにお弁当を作り、それぞれの自宅まで届けました。これは町社会福祉協議会の助成を受けて毎年実施されているもので、お弁当は無償で届けられています。

ひまわり会は平成二年に結成され、現在は12人のメンバーがいます。高齢者の楽しみの一つとなるようにお弁当の配達を続けてきました。

代表の酒井ハナヨさんは、「お弁当を届けると、みんな喜んでくれるのが本当に嬉しい。待ってくれていると思うと、自分達も元気で作り続けなければいけないと、刺激をもらえます。メンバーも楽しく弁当作りをしています」と話しました。

お弁当のおかずは全部で10種類以上。メンバーの皆さんが自主的に、自宅から野菜などを持ち寄るのでたくさんのおかずを作ることが出来るそうです。

色とりどりのおかずと、メンバーの皆さんのまごころが詰められたお弁当です。

三島から燃やす復興の炎

第40回 雪と火のまつり

2/11(土)

会場：三島町町民運動場

スケジュール

9：00　サイの神づくり
12：00　雪と火のまつり開会式
13：00　雪遊びイベント
17：00　御神火採火式・奉納神楽
17：30　たいまつ行列・鳥追い行列
18：00　サイの神点火
18：45　花火大会
19：30　福々みかんまき
20：00　雪と火のまつり閉会

主催

雪と火のまつり実行委員会

後援

極上の会津プロジェクト協議会
奥会津五町村活性化協議会
只見川ライン観光協会
電源開発株式会社 田子倉電力所
福島民報社、福島民友新聞社
福島テレビ、ふくしまＦＭ
株式会社ラジオ福島
株式会社エフエム会津
喜多方シティエフエム

問い合わせ

三島町観光協会
☎/FAX 0241（48）5000

広報 みしま
2012年1月13日発行

■編集　三島町役場　地域政策課　美しい村づくり班
〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下350　☎0241（48）5533
■ホームページ　http://www.town.mishima.fukushima.jp
■印刷　北日本印刷株式会社